

岩出市教育委員会 様

令和7年度 教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出
について

私たち評価委員は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により教育委員会から委嘱を受け、令和7年8月8日及び令和7年9月8日の2回にわたり評価委員会を開催した。

令和6年度は、主要施策に「学びの場の充実と生き生きとしたスポーツ・文化活動の推進」を掲げ、教育委員会2課2館が取り組んだ47事業の評価は、昨年度と比較してa「期待以上」の評価が1事業から2事業へ、b「期待どおり」の評価が38事業から37事業へ、c「やや下回る」の評価は変わらずの8事業となった。

a評価が増えたことで、評価の面では昨年度より向上したことを認めるが、c評価の8事業は昨年度からの継続であり、学力向上や教育の情報化、スポーツ関連事業などで継続的な課題が見られる。

これらの課題の早期解決に向け、慣例にとらわれない新たな発想と、適切なマネジメントサイクルの活用を通じた継続的な事務改善を求めるものである。

教育総務課では、ICT活用による学びの質の向上には、機器の使用に関する習熟だけでなく、ICT教育の意義と今後の方向性を見据えた指導ができる教員の養成が必要である。また、年々増加傾向にある不登校児童生徒については、実態を詳細に把握し、個々のニーズに応じた相談機能の充実に努められたい。

引き続き、学校施設の長寿命化に努めるとともに、通学路の危険個所の改修を図られたい。

生涯学習課では、公民館事業や文化祭事業、生涯スポーツ事業において、若年層を含む多様な市民の意見や要望を定期的に把握し、その結果を事業内容に反映させる仕組みを構築されたい。また、SNS等のデジタル媒体を活用した広報や参加呼びかけを強化し、参加率向上に繋がられたい。

岩出図書館では、電子書籍サービスやWeb利用者カード、オンラインイベントなど、デジタル活用を一層充実させ、「非来館型利用者」の獲得と満足度向上を目指されたい。また、参加型イベントや多様な読書企画の充実により、子供の主体的な読書活動を推進されたい。

民俗資料館では、根来寺の宗教的な分野も必要であるが、市民や観光客を魅了するような展示会の内容も検討し、アンケート調査等を実施し、利用者の満足度を高める工夫をされたい。また、講義形式だけでなく、参加体験型のプログラムを充実させることで、より多様な層の集客を図られたい。

以上が岩出市教育委員会所属の２課２館の令和６年度事業に対する当委員会の意見である。

結びとして、上記の意見は、本市の教育行政が直面する課題を克服し、持続的かつ効果的な教育を推進するための提言です。次年度以降の事業計画に反映され、本市の教育の更なる発展に繋がることを切に願います。

令和７年１０月１５日

岩出市教育委員会評価委員会

委員長 鳥羽 孝幸
副委員長 奥田 富代子
委員 鈴木 晴久

令和7年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主 な 意 見
目標施策	基本施策	
心豊かな人が育つまち	学校環境の充実	✎ 教育総務課 ○ 引き続き学校施設の長寿命化に努めるとともに、通学路の危険個所の改修を図られたい。 ○ 次世代のSTEAM教育への対応等、今後の教育動向を見据えた環境の充実に努められたい。 ○ フレンドに通う児童生徒のニーズを把握し、更なる支援の充実に努められたい。 ○ 学校運営協議会と学校、教育委員会が連携し、地域の多様な人材や資源を取り入れながら、「地域とともにある学校づくり」に取り組まれたい。 ○ 学校運営協議会での協議に基づく施策について広報に努められたい。 ✎ 生涯学習課 ○ 地域に頼るばかりではなく、地域にとっても恩恵のある取組を進められたい。 ○ 今後も安定的な学校支援ボランティア確保と利用環境の改善、交流機会の拡充を図り、引き続き活発な取組を推進されたい。
	豊かな学びと学力向上	✎ 教育総務課 ○ ICT教育についてはその環境の充実にについては一定評価する。今後は機器の使用に習熟させるのみならず、ICT教育の意義と今後の方向性をしっかり見据えて指導できる教員の養成が必要である。 ○ 今後の事業継続と充実に、活動参加率の向上とともに「誰もが楽しく続けられる場作り」と「心身の状態の見える化」が重要と考える。気候面への対応策、参加へのモチベーション施策を検討・実施されたい。 ○ 夏の暑さ対策については、全国的な大会においても様々な対策が講じられている。それらを参考にしつつ新たな工夫が必要である。 ○ 給食費徴収率向上への地道な努力で、今後も滞納繰越分の早期解消の姿勢を継続されたい。 ○ 学校給食の無償化について評価する。物価高騰の折から食材確保等については引き続き尽力いただきたい。
	青少年健全育成の推進	✎ 教育総務課 ○ 児童携帯用防犯ブザー補助事業は地域の安全・安心に資する有意義な事業と評価できる。今後はより高い申請率・所持率、日常管理の啓発に取り組まれたい。 ○ 南海トラフが何時起こってもおかしくない状況において、中学生の主体的な防災行動を更に育成するため、学校管理下外や緊急時にも対応できる柔軟な行動力の育成と、地域防災活動の核となるリーダーの育成に努められたい。 ○ 職業体験の分野拡充・連携深化を図り、更に充実した取組をされたい。 ○ 生徒のキャリアにとって効果的なものになるよう、体験前後の取組の充実に努められたい。 ✎ 生涯学習課 ○ 青少年健全育成事業については、地域や関係機関との連携を深めながら、継続的な実施と事業内容の充実に努められたい。 ○ 青少年の交流の中心はSNS等に移っており、インターネットによる犯罪・被害防止等の取組の充実に努められたい。 ○ はたちのつどい事業については、社会的自覚の促進や地域への愛着心の醸成という目的を明確にし、参加者の意識向上に繋がるプログラムの工夫をされ、継続・発展させることが望まれる。

令和7年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主 な 意 見
目標施策	基本施策	
生涯学習できるまち	文化・芸術活動の推進	 生涯学習課 ○ 文化祭事業については、コロナ以降の参加者の減少対策や、若年層の参加を促進して世代を超えた交流や地域文化の継承に繋がる取組をされたい。 ○ 文化協会助成事業については、所属クラブの活動の活性化に寄与されたい。
	生涯学習の充実	 生涯学習課 ○ 放課後子ども教室推進事業については、引き続き児童の安全・安心な居場所提供を最優先にし、教室内容の充実を図られたい。 ○ 生涯学習を考えるつどい事業については、市民が生涯学習について考え、交流する場として開催され、文化や芸術、地域教育の理解促進に寄与している。更なる参加者増加を目指し、広報活動の充実を図られたい。 ○ 公民館事業は生涯学習の重要な柱であり、今後も多様な市民ニーズの把握と柔軟な対応を通じて、地域に根差した文化、学びの拠点として更なる充実を図られたい。 ○ 公民館教室事業、公民館講座事業については、幅広い年齢層の市民のニーズを汲み、教室や講座の内容充実を図られたい。 ○ 地区公民館運営事業については、施設の長寿命化と安全対策を継続し、施設の機能強化を更に推進されたい。  岩出図書館 ○ 図書館事業の充実（図書館運営事業）について、図書館を市民にとってより身近で親しみやすい存在とするため、他館の先進的な取組を参考にしながら、多様な行事の開催に取り組むことが望まれる。また、電子書籍サービスなどのデジタル活用を推進し、非来館型利用者の獲得を図るとともに、図書館ボランティアの確保を通じて市民との協働体制を一層強化されたい。さらに、読書活動の裾野を広げることで、地域文化の継承と発展につなげる取組が期待される。 ○ 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）については、家庭・地域・学校の連携を通じて保護者への啓発を図り、参加型イベントや多様な読書企画の充実により、子供の主体的な読書活動を促進されたい。また、今後はデジタル事業の可能性についても積極的に研究を進められたい。
	生涯スポーツの推進	 生涯学習課 ○ 市民運動会事業、総合スポーツ大会、市マラソン大会事業及びスポーツ教室事業については、引き続き市民のニーズの把握に努めるとともに、より多くの方に参加してもらえる内容となるよう工夫されたい。 ○ また、SNS等のデジタル媒体を活用し、参加の呼びかけや事業情報の発信を行うことで、参加率の向上を図られたい。 ○ スポーツ少年団助成事業、体育協会助成事業、大会等選手派遣補助事業については、生涯スポーツの振興と市民の健康づくりにおいて重要であり、今後も計画的な支援と柔軟な運営により、より良い成果を目指されたい。 ○ スポーツ施設運営事業については、施設の安全を強化し、快適に利用できるよう整備を行うとともに、施設の質向上に重点を置いた改修や更新を実施し、利用者の満足度を高め、利用者数の増加につなげられたい。また、スポーツ施設整備事業については、計画的な整備更新を進められたい。

令和7年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主 な 意 見
目標施策	基本施策	
さ 人 れ 権 る が ま 尊 ち 重	人権尊重の推進	☞ 生涯学習課 ○ 市民への情報発信を強化し、より多様な市民が主体的に参加できる人権啓発を目指されたい。 ○ 今後も人権の啓発に努めるとともに、近年増加しているSNS等の人権問題等にも取り組まれたい。
歴 史 を 守 り 文 化 を つ な ぐ ま ち	文化遺産の保護・活用	☞ 生涯学習課 ○ 近代以降の文化財や先人の発掘にも取り組まれたい。 ○ 火災・災害対策（自動火災報知設備の整備・点検など）の定期的な見直しや、劣化対策を計画的に進められたい。 ○ 「ふるさと岩出」への誇り醸成や観光振興に直結する事業である。今後も持続的で魅力ある取組をされたい。 ○ 適切な保存技術や管理のため、文化庁や県の補助・助言制度を活用されたい。
	歴史・伝統文化の振興	☞ 生涯学習課 ○ 文化資源である根来の子守唄を地域の誇り・賑わいにもつなげる事業展開をされたい。 ○ 「根来の子守唄」以外の文化財の発掘にも取り組まれたい。 ☞ 民俗資料館 ○ 展覧事業については、根来寺の宗教的な分野も必要であるが、市民や観光客を魅了するような展示会の内容も検討しアンケート調査等を実施し、より参加者の意見を反映した企画展示や講演会を開催することで、利用者の満足度を高める工夫をされたい。また、展示会では歴史的資料の展示解説の充実もされたい。 ○ 歴史学習・講座事業については、SNSや広報紙、チラシ等で講座等の周知を強化し、若年層や子育て世代など各世代の参加促進を進め、講義形式だけでなく市民等の参加体験の学習会の充実も図られたい。また、近代以降の文化財や先人の活躍等についても取り組まれたい。
	国際化の推進	☞ 教育総務課 ○ A L T活用の機会・時間の更なる拡充を図り、グローバル社会への備えをより強化する施策の取組をされたい。 ○ 英語教育については、環境（A L T等）を整えるのみならず、幼児教育から義務教育全般を通じての長期的な計画をもって取り組むのが望ましい。